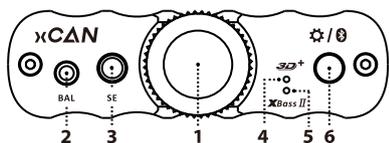


ifi x series xCAN



1. 電源スイッチ兼アナログ・ボリューム・ロータリー・ノブ(LED付)

電源ON(モードの選択も同時に行われます):LEDライトが点灯するまで、ロータリー・ノブを押したままにします。前面のロータリー・ノブは、前回の最後に使用したモードに対応して点灯します。前回のモードのままであればノブから指を放します。2つのモードを切り替えるには、ノブを押したままにし、希望のモードになったら指を放します。

LEDの色	モード
グリーン	有線モード(シングルエンドまたはバランス)
ブルー	無線Bluetooth(接続)
ブルー(点滅)	無線Bluetooth(接続待ち)
ブルー/赤(点滅)	無線Bluetooth(ペアリング中)

xDSDでは、このようにして2つのモードの選択を循環的に切り替える形になっています(20秒ほどかかります)。さらに押し続けると、自動的に電源がOFFになります。

電源OFF:ロータリー・ノブを数秒間押し続けて、すべてのLEDがホワイトになったら指を放します。

有線モードと無線モードの切り替え:電源をONにした後にモードの切り替えを行いたい時は、一旦電源をOFFにしなければなりません。上記の「電源ON(モードの選択も同時に行われます)」の説明をご参照ください。

無線モード(Bluetooth):xCANはBluetooth機器を8台までペアリングできます。

xCANが無線モード(Bluetooth)の場合は、電源ONの状態から15秒間青色に点滅します。その間、これまでにペアリングされた機器を探すのです。ペアリングが保存された機器が見つからない場合は、自動的にペアリング・モードに入ります(入力:青/赤の点滅)。

新しいBluetooth機器は、Bluetoothモード時に「Setting」ボタン(ギア・アイコン)を3秒間押しして「強制的にペアリングする」ことができます。

ミュート(消音):ロータリー・ノブを押すか、音が出なくなるまでノブを回すと、ミュート状態になります。ミュートを解除するには、ノブをもう一度押すか、ノブを回します。

ロータリー・ノブ/ボリューム:	ボリューム
LED	ボリューム
レッド	-9 ~ +12dB(100%-91%)
イエロー	-27 ~ -10dB(90%-73%)
グリーン	-45 ~ -28dB(72%-55%)
シアン	-63 ~ -46dB(54%-37%)
マゼンタ	-81 ~ -64dB(36%-19%)
ブルー	-101 ~ -82dB(18%-0%)
OFF	ミュート

2. 2.5mmバランス出力

2.5mmバランス型ヘッドフォンやIEM(イン・イヤーズ・モニター)を接続します。

3. 3.5mmシングルエンド出力

3.5mmシングルエンド型ヘッドフォンやIEMを接続します。S-バランス回路を楽しむことができます。

ヒント:有線のバランス型ヘッドフォンやIEMのご使用をお奨めします。有線によるバランス方式の方が優れており、xCANのS-バランス回路を最大限に利用できるからです。

4. 3D+®マトリクスLED

3D+®マトリクス(ON/OFF)は、スピーカーを聴いているようなホログラフィックな音場を生み出します。まるでスピーカーを聴いているかのようにヘッドフォンを聴くために設計された、純粋なアナログ信号処理回路です。これによって、音楽を聴いている時に不快に感じられる、「頭の内部で音楽が鳴っている」という印象が軽減されます。

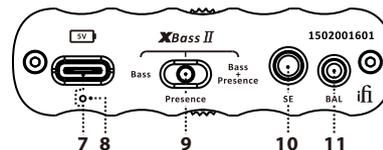
5. XBass II®LED

XBass II®(ON/OFF)は、xCANに初めて導入された技術です。XBass II®を使用するにあたっては、「9. XBass II®の各モード」をご参照ください。

6. 設定

このボタンは、以下のように順次切り替わります:

3D+®
XBass II®
XBass II® & 3D+®
OFF
ペアリング(Bluetooth、押したままにする)



7. USB-C充電ポート

USB-Cポートは充電のためだけに使用します(他の機能は一切ありません)。

xCANがOFFの時に、5VのUSB電源を感知すると、LEDの色が変わって、充電状態を表示します(次の「8. バッテリー状態を表示するLEDの色」をご参照ください)。

8. バッテリー状態を表示するLEDの色

LED	状態
白*	≥75%
緑*	74% - 25%
赤*	24% - 10%
赤(点滅)	≤10%

*充電中はバッテリーのLEDが点滅します

IEM使用時には、フル充電したバッテリーで約6~8時間音楽を楽しむことができます。

9. XBass II®の各モード

近年のヘッドフォン周波数レスポンスの新たな調査によって、楽しく音楽を聴くためには、純粋に「フラット」なレスポンスが「理想的」であるとは言えないことがわかりました。弊社が長年使用しているXBass®は、必要とされる低域の矯正に適していますが、多くのヘッドフォンに「よりナチュラルな」サウンドを与えるには、中低域をある程度ブーストすることが必要であることもわかりました。この中低域は、通常は「プレゼンス」帯域と呼ばれているので、私たちはこの用語を中低域の矯正を指すために使用しています。xCANでは、「低域+プレゼンス」の矯正、または「低域」のみの矯正、あるいは「プレゼンス」のみの矯正のために、XBassII®を選択することができます。好みに応じて選択してください。

ヒント:解像度と音質の低下が不可避なDSP(デジタル信号処理)は、XBass II®システムでも、3D+®マトリクス・システムでも、使用していません。これらのシステムは最高品質のディスクリット・コンポーネントを使用し、純粋にアナログ領域で動作します。ですから、オリジナル・ミュージックの明晰性と解像度が保持されるのです。

10. 3.5mmシングルエンド入力

スマートフォンなど、3.5mmシングルエンド出力端子を持った機器を接続します。

ヒント:xCANのバランス回路の音質を最大限に引き出すには、バランス入力の使用をお奨めします。

11. 2.5mmバランス入力

デジタル・オーディオ・プレイヤーなど、2.5mmバランス出力端子を持った機器を接続します。

製品の仕様:

最大出力:	S-balanced:	> 3.8V/45 mW @ 300 Ohm > 3.5V/380 mW @ 32 Ohm > 3.1V/600 mW @ 16 Ohm
	Balanced:	> 7.6V/90 mW @ 600 Ohm > 7.2V/800 mW @ 64 Ohm > 5.7V/1000 mW @ 32 Ohm
THD & N特性:	S-balanced:	< 0.005% @ 100mW/1.26V/16 Ohm
	Balanced:	< 0.006% @ 360mW/2.4V/16 Ohm
S/N比:	S-balanced:	> 121dB @ 3.8V
	Balanced:	> 120dB @ 7.6V
最大入力:	S-balanced:	3Vrms
	Balanced:	6Vrms
ゲイン:		-95dBから+18dBまで連続可変式(ボリュームを使用)
周波数特性:		2Hz - 200kHz(-3dB)
連続再生時間:		10 - 20 時間(充電はUSB Type-Cを使用)
バッテリー:		3.8V/2200mAh
サイズ:		95mm(縦)x 66.5mm(横)x 19mm(高さ)
重量:		131g
保証期間:		12ヶ月
		仕様は予告なく変更になる場合があります。
製品についてのご質問・ご購入者様サポート		
ENZO j-Fi LLC.		
千葉県松戸市常盤平 5-14-28-103		
iFi Audio コンタクトページ		
http://ifi-audio.jp/contact.html		
輸入・発売元: 有限会社トップウイング		
東京都東村山市栄町 1-10-2-1102		
電話 042-392-8319		
mail:info@twctokyo.jp		

ifi Audio 情報 Web ページ <http://ifi-audio.jp/>